授業科目名・形態	高齢者と健康　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	今野　修	実務経験の有無	有	開講期	2年前期
科目ナンバリング	W3-2007c				

【授業の主題】

人間の成長と発達の過程における身体的・心理的・社会的変化および老化が生活に及ぼす影響を理解し，ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的な知識を踏まえた上で，高齢者の健康について学んでいきます。また，高齢者の健康の維持はもちろんの事，病気になった際の生活に関わる支援方法や医学的対応についても，医療職と連携して実践していくための基礎的知識を学んでいきます。

【到達目標】

1) 高齢者の健康の意義と様々な健康についての考え方が理解できる。
2) 高齢者に多い症状と疾患の特徴について理解できる。
3) 高齢者に多く見られる疾患が，高齢者への生活にとのように影響をもたらすか理解できる。
4) 高齢者の健康の維持・増進を含めた生活を支援するための方法を理解できる。
5) 医療職と連携して行っていく高齢者の健康づくりや疾病予防および医学的管理について理解できる。

【授業計画・内容】

第1回　高齢者の健康とは
第2回　高齢者の健康を支える社会システム
第3回　高齢者の健康と介護予防およびリハビリテーション
第4回　高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点①(呼吸器系疾患)
第5回　高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点②(循環器系疾患)
第6回　高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点③(脳神経系疾患)
第7回　高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点④(骨格・関節系疾患)
第8回　高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点⑤(腎・泌尿器系疾患)
第9回　高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点⑥(消化器系疾患)
第10回　高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点⑦(歯・口腔疾患)
第11回　高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点⑧(内分泌系疾患)
第12回　高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点⑨(感覚器系疾患・精神疾患)
第13回　高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点⑩(皮膚疾患)
第14回　高齢者の医学的管理
第15回　まとめ

【授業実施方法】

基本は講義形式で行います。また，第1回・第2回・第3回では課題を提示してデスカッションをしてもらい，その後発表してもらいます。そして，グループ学習による協働的学びを求めたいと考えております。

【事前・事後学習】

講義内容に応じて毎回30分以上の予習・復習を行ってください。

【主な関連する科目】

エイジング論，生活支援技術論Ⅰ・Ⅱ，介護の基本Ⅲ，医学概論

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会：最新介護福祉士養成講座12　発達と老化の理解　第2版

【参考文献】

高橋龍太郎：図解・症状からみる老いと病気とからだ，中央法規出版，2002

【成績評価方法】

筆記試験80%、課題レポート提出物等20%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

病院等で、多くの高齢者への看護の経験を積んできました。その経験を生かして、医療職と連携して介護福祉士の専門性が発揮できるための様々な学びを一緒に行っていきたいと思います。

【学生へのメッセージ】

この科目は，介護実践に必要な根拠となる心身の発達段階と老化への理解をしていくための重要な学習になります。また，人間の一生に伴う諸課題や，人間にとっての「老い」についても一緒に考えていきましょう。